

モスクワ国際関係大学
交換留学報告書

国際関係学部国際関係学科三年

今回留学した三か月間を振り返ってみると、様々な体験ができ、新たな価値観を身につけられて、とても有意義な時間を過ごせたと思う。この貴重な体験についてまとめいく。

まず、学校生活について述べる。私は、モスクワ国際関係大学という、ロシア国内でも有数の大学へ留学させていただいた。授業はロシア語の文法のクラスを受講した。10人ほどの少人数クラスで、フランス、イタリアなど様々な国からの留学生と共に学んだ。とても気さくで積極的な方が多く、親しみやすい雰囲気だった。主にロシア語と英語で進行し、初めは聞き取ることも大変だった。しかし、先生と生徒、生徒同士での対話が多く、実際にロシア語を話すことで自信もつき、授業になじめるようになった。実際に会話することで言語が身についていくものなのだと感じた。また、授業ではロシア人が日常的に使う言葉や熟語、有名な歌なども知ることができ、とても勉強になった。

続いて、ロシア人との交流について述べる。私は、毎週水曜日と土曜日におこなわれている、日本語を勉強しているロシア人と、ロシア語を勉強している日本人の勉強会”ボタニク“に参加した。15~20人ほどの人たちが集まり、お互いの文化や習慣について話したり、勉強で分からないことを聞きあったりした。文化の違いを感じたり、想像とは違ったロシアを知ることができ、興味深い話をたくさん聞くことができた。

最後に、ロシアで過ごした休日について述べる。

休日は観光とロシア語の勉強をして過ごした。中心地の街並みがとても美しく、すべ

てが新鮮だった。様々な美術館、博物館、教会をめぐり、ロシアの美術や歴史に触れることができ、貴重な体験ができた。また、ロシア人の友人からおすすめの場所を教えてもらったり、ほかの日本人留学生とも交流ができたなど、多くのひとと関わりながら充実した休日を過ごすことができた。

まとめとして、三か月という短い期間ではあったが、多くの人と関わり、たくさんの風景を見て、とても刺激を受けた。初めてといっても過言ではない海外で不安も多かったが、いろいろな人と協力し合い、人の優しさも感じられる充実した毎日だった。また、実際に現地に行くことで感じる空気感は自身の新たな考え方を生み出すことに繋がったと思う。今回の留学を機に、さらにロシアについて学んでみようと思えた。

最後に、このような素晴らしい経験をさせてくださり、多くの支援をしていただいた家族、大学、友人、そのほか関わっていただいたすべての人に感謝したい。